



清流news

〒191-8686 東京都日野市神明1-12-1

Tel 042-514-8309

発行日 1月・4月・7月・10月

Vol. 115

発行
日野市
環境共生部
緑と清流課

あさかわ写真コンクールは、日野市の中央を流れる「浅川」の魅力を広く人々に伝えるため、日野市と八王子市の連携事業として開催しています。今年であさかわ写真コンクールは8回目を迎え、これまでにたくさんの人々から、浅川と人のふれあい、紹介したい浅川の風景、浅川の生きものなど、浅川を題材にした写真を応募していただいております。



募集要項は以下のとおりです。

募集期間 平成30年4月1日～平成30年8月31日（必着）

撮影範囲 浅川（北浅川）、南浅川 ※支流は除きます。

応募条件

- ・プリント写真での応募の場合は、A4サイズ（210×297mm）であること。電子データでの応募の場合は、JPEG形式であること。組写真は対象外。（データ名を「作者・作品名」に変更してください）
- ・未発表及び他に応募していない、自分で撮影した作品であること。
- ・極端な補正、合成等の加工を行った作品でないこと。
- ・撮影のため環境に人為的加工をするなど、生きものや環境にダメージを与えずに撮った作品であること。
- ・縦、横、カラー、モノクロの区分はありません。

※縦横どちらの写真か明記

部 門 中学生以下の部、一般の部（高校生以上）

応募点数 一人5点まで

応募方法 郵送・電子メールいずれの場合にも、必要事項を明記した所定の応募用紙を同封・添付して、ご応募ください。電子メールでの応募の場合は、1通につき作品データ1点の添付としてください。（メール容量が5MBまで）

応募先 〒191-8686 日野市神明一丁目12番地の1
日野市緑と清流課
あさかわ写真コンクール担当 宛
メールアドレス seiryu@city.hino.lg.jp

詳細な募集要項は、緑と清流課窓口や市のホームページ等で入手できます。

その他、詳細は緑と清流課までお問い合わせください。

第8回

あさかわ写真コンクール
しぜん・ひと・まち

浅川流域連携事業



第7回あさかわ写真コンクール
一般の部 日野市長賞
「春の浅川河川敷」 安孫子昭二さん

第27回 多摩川・浅川クリーン作戦
4月15日(日) 開催

ふるさと清流をとりもどそう！

今年も「多摩川・浅川クリーン作戦」を開催します。人と自然がふれあえる環境の保全を目指し、多摩川と浅川の両川にて清掃活動を行います。日野市内では、東光寺グラウンドからクリーンセンターまでの多摩川右岸、大和田運動広場から多摩川合流点までの浅川両岸が清掃区間になります。

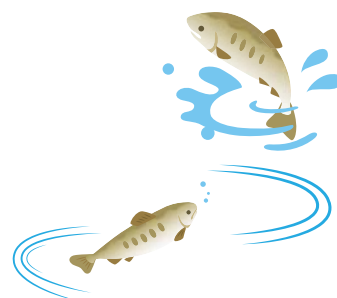
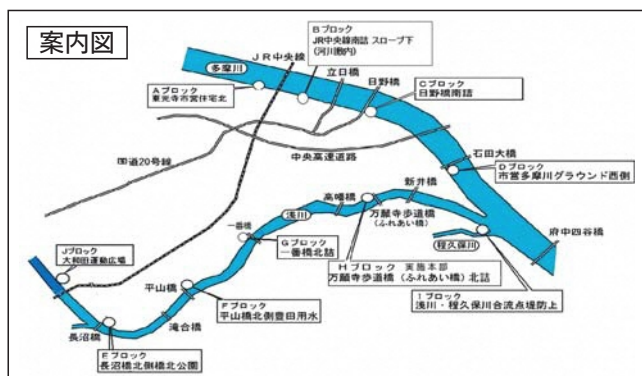
毎年、2,000名にも及ぶたくさんの皆様にご参加いただいております。今年で27回目になりました。自治会や様々な団体、個人での参加もあり、たくさんの方々が川や日野市をきれいにしようという意識を持っていただいていることが嬉しく思います。今年もたくさんの参加者をお待ちしておりますので、よろしくお願いいたします。

日 時 平成30年 4 月15日(日) 【雨天中止 (小雨決行)】

午前 9 時25分集合／午前 9 時30分開始～午前11時（流れ解散）

集合場所 日野市内10箇所（案内図参照）

○実施本部・万願寺歩道橋（ふれあい橋）北詰



- *雨天の場合は、当日午前7時30分より実施の有無を回答します。(市内集合場所のみ)
- *ゴミ袋はこちらで用意します。軍手は用意がありますが、数が限られているのでお持ちの方はご準備願います。
- *駐車場がありませんので、お車でのご来場はご遠慮ください。

お問い合わせ：日野市役所 緑と清流課 まで

ソーラースタンドを設置しました!!

カワセミハウス、多摩平第1公園、市民の森スポーツ公園、百草台自然公園の4箇所に、太陽光で発電を行うLEDソーラースタンド（照明灯）を設置しました。このソーラースタンドは電線を繋げていない100%太陽光発電の照明灯のため、停電などが発生した時でも明かりが点きます。

さらにソーラースタンドには携帯・スマホの充電器も設置されているため、充電しながら再生可能エネルギーを身近に感じられるのではないのでしょうか??

ぜひ近くにお立ち寄りの際には利用してみてください！



用水守さんを募集しています

市内の用水路、河川、湧水地の清掃をボランティアにて行ってくれる方を、随時募集しています。

現在、約400名の個人や市民団体など、たくさんの方に協力をお願いしています。

水守として活動していただいております。

安心して活動をしていただけるよう、緑と清流課にて用具の貸与、保険の加入をいたします。

また、年に一回用水守懇談会を実施しており、用水守のみなさん、各用水組合長、市長と一緒に活動報告や、用水にまつわる様々なお話をさせていただきます。

詳細は緑と清流課までお問い合わせください。



用水守懇談会の様子

街路樹キーパーを募集

街路樹キーパー制度とは、市民の皆さまに市が管理している街路樹の守り手・キーパーソンとして、維持管理や緑化活動を行っていただくボランティア制度です。

街路樹キーパーには名刺を交付し、落ち葉清掃、除草、ゴミ拾い、草花の植栽・育成管理（市と協働）、水やり・病虫害や枯損の点検、小枝の剪定などを行っていただき、市では、そのサポートとして道具類（ほうき、熊手など）の貸し出し、ボランティア保険の加入、活動に関する相談、ボランティア袋の支給・回収などを行います。

市民協働による、より良いまちづくりに、多くの市民の皆さまのご協力をお待ちしています。

- 申込方法 活動場所・内容などを相談の上、所定の申込書（市役所3階緑と清流課にあり）などを提出

- お問い合わせ 緑と清流課



街路樹キーパー名刺の紹介

見本①

団体用

みどりある街をみんなで守り育もう。

日野市公認 街路樹キーパー
登録No. 1 ○○○自治会

日野 太郎

有効期間: H29.4.1～H34.3.31

問合せ先: 日野市役所 緑と清流課
〒191-8686 東京都日野市神明 1-12-1
電話 042-585-1111 内線 3621・3622
FAX 042-583-4483
E-mail: ryokusei@city.hino.lg.jp

個人用

みどりある街をみんなで守り育もう。

日野市公認 街路樹キーパー
登録No. 1 日野 花子

有効期間: H29.4.1～H34.3.31

問合せ先: 日野市役所 緑と清流課
〒191-8686 東京都日野市神明 1-12-1
電話 042-585-1111 内線 3621・3622
FAX 042-583-4483
E-mail: ryokusei@city.hino.lg.jp

見本②

団体用

みどりある街をみんなで守り育もう。

日野市公認 街路樹キーパー
登録No. 1 ○○○自治会

日野 太郎

有効期間: H29.4.1～H34.3.31

問合せ先: 日野市役所 緑と清流課
〒191-8686 東京都日野市神明 1-12-1
電話 042-585-1111 内線 3621・3622
FAX 042-583-4483
E-mail: ryokusei@city.hino.lg.jp

個人用

みどりある街をみんなで守り育もう。

日野市公認 街路樹キーパー
登録No. 1 日野 花子

有効期間: H29.4.1～H34.3.31

問合せ先: 日野市役所 緑と清流課
〒191-8686 東京都日野市神明 1-12-1
電話 042-585-1111 内線 3621・3622
FAX 042-583-4483
E-mail: ryokusei@city.hino.lg.jp

見本③

団体用

日野市公認 街路樹キーパー
登録No. 1 ○○○自治会

日野 太郎

有効期間: H29.4.1～H34.3.31

《問合せ先》日野市役所 緑と清流課
〒191-8686
東京都日野市神明 1-12-1
電話(042)585-1111 内線 3621・3622
FAX(042)583-4483
E-mail: ryokusei@city.hino.lg.jp

個人用

日野市公認 街路樹キーパー
登録No. 1 日野 花子

有効期間: H29.4.1～H34.3.31

《問合せ先》日野市役所 緑と清流課
〒191-8686
東京都日野市神明 1-12-1
電話(042)585-1111 内線 3621・3622
FAX(042)583-4483
E-mail: ryokusei@city.hino.lg.jp

日野市環境フェア～10th Anniversary～を 開催しました

平成30年2月17日（土）にひの煉瓦ホール（市民会館）大ホールにて「日野市環境フェア～10th Anniversary～」を開催しました。

今回の環境フェアは、ふだん着でCO₂をへらそう事業が今年で10年目を迎える節目であることから、従来のイベント内容に加え、これまでの事業の振り返りを行いながらその事業効果等についても広く来場者へ周知いたしました。

環境フェア第1部では、省エネ取組について、平山小学校のエコ集会や環境かるた大会の優勝者から発表していただき、また、エコアラ・エコクマによる省エネ啓発ショーで地球温暖化防止の大切さを来場者へ伝えました。



式典の様子



平山小学校エコ委員会による発表

来場した子供達へは、市内で採取したカブトムシの幼虫を150匹配布し、生きものを大切にする事が、地球環境を守ることにつながる事を知ってもらう機会としました。

来場者へは、LED電球やマイ水筒、自転車などの環境グッズが350名以上に当たる大抽選会を行い、場内は大いに盛り上がりました。

第2部では、小学生に好評の日野市環境かるたに関するクイズ大会を大ホールで行い、約100名が上位入賞を狙い、熱戦を繰り広げていました。クイズ参加者は日ごろから環境かるたに親しんでいる小学生が多く、

標語や絵柄を良く覚えている子ども達の姿が印象的でした。

展示室では、エコアラ・エコクマの缶バッジ作成体験や事業10年の振り返りパネル展示、省エネアンケート等も行いました。

今後も引き続き、ふだん着事業を通して、「青い地球をいつまでも」次の世代へ引き継ぐことができるよう地球温暖化防止の普及啓発活動を行って参ります。



省エネグッズ大抽選会



日野市環境かるたクイズ大会決勝戦

浅川潤徳水辺の楽校の活動

浅川潤徳水辺の楽校とは

潤徳小の近くの浅川及び向島用水を舞台に、子供たちが、川の持つ豊かな自然にふれることによって、自然の大切さや楽しさ、自然の怖さなどを学び、それを地域のボランティア、小学校、行政がサポートしていく活動です。

私たちは、浅川を中心に、子供達がガサガサ（魚取り）、水泳、バッタ取り等、川遊び遊びの中から、自然の中で学んでもらうことを目標にしています。

浅川潤徳水辺の楽校は、市内の小学生は誰でも参加できますので下記の「水辺の楽校事業計画」の日程を参考に、ご参加ください。

水辺の楽校は、平成8年から国土交通省が推進している事業でもあり、すでに全国で300以上の地区でこの取り組みが始まっています。

平成30年度（2018）浅川潤徳水辺の楽校 事業計画

平成	月	日	曜日	時間	行事	内容
30	4	22	日	9:00～	多摩川・浅川クリーン作戦に参加	浅川ふれあい橋付近、むこうじま用水清掃
		12	土	10:00～	「浅川で遊ぼう1」	竹馬、竹笛づくり、竹ぼっくり、天狗の下駄、石絵、豚汁、その他
	6	3	日	10:00～	「浅川で遊ぼう2」身近な水環境の一斉調査	子供中心に用水で3箇所ふれあい橋下1箇所
	7	21	土	8:00～	「浅川で遊ぼう3」浅川の源流探検	川は流域で考えることから、浅川の清冽な源流域を体験する。
	8	4	土	10:00～	「浅川で遊ぼう4」	思いっきり、水遊び（水泳など）
	9	8	土	10:00～	「浅川で遊ぼう5」	バッタ取りと植物観察（杉浦氏）
	10	20	土	9:00～	かいぼり大会	とんぼ池のかいぼり
	11	25	日	9:00～	日野市地域清掃に参加	浅川ふれあい橋付近、向島用水清掃
	12	4	火	8:20～	水辺の楽校発表会	潤徳小体育館
		8	土	11:30～	多摩川子供シンポジウム	多摩川流域の水辺の楽校が集う発表会
		9	日	9:00～	ササ刈り	どんど焼きお団子の串用
		20	木	8:30～	餅つき大会	潤徳小5年生
31	1	19	土	9:00～	どんど焼き準備	お団子づくり、やぐら作りなど
		20	日	10:00～	「浅川で遊ぼう6」	どんど焼き大会
	2	16	土	10:00～	「浅川で遊ぼう7」	浅川で野鳥観察

浅川潤徳水辺の楽校は、ボランティア、潤徳小、緑と清流課が事務局となり毎月1回、潤徳小で定例委員会（17:30から18:30）を開催し、行事や稲作りの計画及び準備等を話し合っています。



5月「浅川で遊ぼう1」竹笛作り、石絵、竹馬



7月「浅川で遊ぼう3」浅川の源流探検



8月「浅川で遊ぼう4」浅川プールでジャンプ



12月水辺の楽校発表会 全校生徒の前で発表



1月市内で最大の「どんど焼き大会」水辺の楽校、PTA、学校、消防団の共催



田んぼの取り組み

5年生による「米作り」は、農家の協力を得て今年で22年目を迎えます。

種まきから始まり田植え→夏の草取り→稲刈り→掛け干し→脱穀→水車で精米→餅つき大会と米作りのすべてを学びます。



5月田植え



10月稲刈り

スタッフ（ボランティア）を募集しています!!

子供達と一緒に遊びながら環境学習を指導できることは、夢があり、やりがいのある活動です。子供達と楽しく浅川で遊びませんか？

活動のほか、毎月1回潤徳小校長室で「浅川潤徳水辺の楽校推進協議会」を開催しています。



●七ツ塚公園 (総合公園190)

所在地…新町5-20-1/面積…9,804㎡/開園日…平成22年3月31日

七ツ塚古墳群(日野市指定史跡)は、鬘(まげ)を結った女性埴輪が、明治時代に考古学者、鳥居龍藏により紹介されたことで有名になった古墳群です。

その後も地元の立川民蔵の尽力により古墳の知名度が上がりました。

現在では5基が残っていますが、かつては多くの墳丘がこの付近に点在し、「七ツ塚」の名で親しまれてきました。また、この一帯は旧石器時代の遺物や、縄文時代の住居跡が見つかるなど、太古からのヒトの活動の跡が残された地域でもあります。



(C) 2017 PASCO CORPORATION.

(C) 2017 INCREMENT P CORPORATION.

いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。

●東光寺上公園 (街区公園189)

所在地…新町4-4-25/面積…2,000㎡/開園日…平成22年3月31日

このあたりは、東光寺上といわれ、かつてはこの台地の下の東光寺(現在の栄町4丁目・5丁目一帯)に住む人々の畑が広がっていました。畑の下には旧石器・縄文時代、古墳・奈良・平安の各時代の人々の生活した跡が残っています。

ます。

畑では、東光寺大根も栽培されています。明治26年に練馬大根の種子をこの地に植えたのが始まりとされていますが、特に漬物用の干し大根は練馬大根をしのぐ高い評価で、皇室への献上品にもなったほどです。真白い大根が村中で干された風景は、日野の風物詩でもありました。

普通河川占用料納付のお知らせ

日頃から、日野市河川占用業務にご理解・ご協力をいただきありがとうございます。

毎年、「日野市普通河川等管理条例」に基づき用水路等の普通河川を占用されている皆様に占用料請求書及び納付書を送付し、納付していただいています。

4月中旬に請求書及び納付書を発送する予定となっています。お手元に届きましたら、納付していただきたくお願いいたします。

なお、河川占用の継続申請の手続きの用紙を該当の方にお送りしています。まだ、手続きがお済みでない方は手続きをお願いいたします。



清流ニュースにひとこと

清流ニュースに、「こういう記事を書いて欲しい!」や「こんなイベントを企画して欲しい!」など、皆さんからのご意見・ご要望を募集したいと思います。

次号以降の清流ニュースの編集の参考にさせていただきます。

宛先 (お手紙、ファックス、メール等
をお願いします)

日野市役所 環境共生部 緑と清流課
清流ニュース担当宛て

〒191-8686 東京都日野市神明1-12-1

ファックス 042-583-4483

メール seiryu@city.hino.lg.jp



①平堰―日野用水の源
日野用水は八王子市平町の平堰から取水し、堰上流八王子側に取水口があります。完成したのは昭和37（1962）年で、対岸の昭島まで幅約500mの多摩川を横断する大きな堰です。魚が遡上しやすいようにハーフコーン型の魚道も設けられています。平堰周辺は多種多様の生きものが生息しており、植物もほとんど手

みず
くらし
まち
水辺のある風景
日野50選

水辺のある風景 日野50選 選ばれた水辺を紹介します

つかずの自然のまま残っています。

日野用水は、永禄10年（1567年）室町時代後期に佐藤隼人が北条氏照から罪人を使役して日野用水を掘らせたという長い歴史を持っています。平成29年度は日野用水が450周年を迎え、市では様々なイベントを開催しました。

日野用水は上堰と下堰の二つの流れがありますが、かつて上堰は現在の平堰より上流、下堰は東光寺裏から取水していました。流末は根川から多摩川へと流れています。

日野市内には、かつて「多摩の米蔵」と呼ばれるほどの水田が広がっていましたが、時代の流れと共に住宅開発や工業発展の影響で、田んぼが減ってしまいました。また、流域でも、田が畑や果樹園に変えられたりするなどの、環



境変化がありました。田んぼへの灌漑水量は、かつてほどではありませんが、米づくりにおける用水の大切さは変わりません。このような背景が残っているか、これからの課題であり、平堰と日野用水、田畑は一体で保全を考える必要があります。



ウェルカムツリーや 生け垣で 市内に緑化をしませんか

市は、お子さんが生まれた方や転入された方又は新築された方などが記念樹を植栽する場合に歓迎を表し、ウェルカムツリーとして苗木代を10,000円までを限度として補助します。また、生け垣により緑化される場合も同様の補助をします。

この制度は、工事着手前に必ず申請、審査が必要です。詳細は緑と清流課公園緑政係までお問合せください。



「緑の募金」にご協力を

（公財）日野市環境緑化協会と市の共催で、4月2日（月）から5月31日（木）までの期間に緑の募金運動を重点的に実施します。

この募金は、学校や公園など身近な地域の緑化推進や緑地の整備等に使われます。

緑豊かなまちづくりのため「緑の募金」にご協力をお願いします。



春の鳥の移動、オオバンは？

〈小鳥が歌うわけと 渡りのさまざま〉

小鳥の雄が歌いだすのも、夏鳥が渡って来るのも、子育てのためです。野生の命の多くは、他の命の食物になるからこそ、生物多様性や持続可能性が維持されています。個々の命は生存率が低いので、生きのびた命は子孫を残すことが使命と言えましょう。ですから、冬を耐えた雄は、生き残った雌に選ばれてペアとなり、子育てをしなくてはなりません。夏鳥の場合は海を越えて、繁殖地まで移動しなくてはなくてはならないのです。日本で冬を越した冬鳥は、北の繁殖地に旅立ちます。口



水面のオオバン（カモ類なら嘴は平たいが、オオバンの嘴は尖っている）

シアの極東地域で繁殖するものが多いと考えられています。が、北極圏で繁殖するものものいれば、カムチャツカだったり、サハリンだったりもするでしょうし、中国や朝鮮半島、北海道もあり得ます。ウグイスやルリビタキは「低地で冬を越して、山地で繁殖する」ようにいわれますが、北海道や中国では夏鳥ですから、中国まで渡るものもいっても不思議はありません。

〈冬鳥の北帰と渡りの謎〉

低地で虫が飛び始めると、ツバメが渡ってきます。山でも虫が飛び始めるようになる頃には、山で子育てするキビ



オオバンの足（みずかきはないが、泳ぎやすいように指には弁がある）

タキやオオルリの飛来が始まります。彼ら、夏鳥との再会が楽しい季節となりましたが、5月まで続く、冬鳥の北帰も気にしていきましょう。ジョウビタキは4月には見られなくなりですが、シメ、ツグミ、レンジャク類、コガモなど、5月初旬（スズメではひなの巣立ちが始まる頃）まで見られる冬鳥もいます。

鳥たちの渡りはさまざまで、わかっていないことのほうが多いのです。前回は近年、各地で増えたといわれるアオサギを取り上げましたが、オオバンも同じ。増えてはいるようですが、その理由は不明です。ともに関東では1年中見られるものの、北部では冬を

越さない地域、南部では冬しか見られない地域もあるので、移動していないとは言えません。

〈カモの仲間？ ツルの仲間？〉

オオバンは、黒い体に白い額でわかりやすい鳥です。都内では冬の水辺でよく見るようになりましたが、春以降はどうでしょう？

水面にすることが多いので、カモの仲間と思われるかも知れません。でも、オオバンはツル目クイナ科に分類されていて、泳いでいるときは、ツルが歩くときのように首を前後に振っているはずで

ちなみに、筆者は、日野市在住だった故高野伸二の名著『フィールドガイド日本の野鳥』の改訂を担当しています。高野はオオバンの生息環境を「広い湖沼や池」と書いていましたが、近年は都市部の水辺にもいるので、「運河でも見る」と書き足しました。

文

（公財）日本野鳥の会

主席研究員 安西英明

写真

金子精一

あとかぎ

また新しい年度になります。新生活を迎える方もいるのかなと思います。

この時期は慌ただしく自分のやる手が一杯で、振り返ったり、先を見据えたりすることはなかなか難しいとは思いますが。そのような中でも、ふと四季の訪れを感じることあるんじゃないでしょうか。木々には新しい芽や蕾が膨らみ、暖かい春の訪れを待っています。川や用水路では、寒くて見られなかった魚たちも顔を出し始めています。

このような自然の姿は、意識して見ることはさほど多くはないでしょうが、いまだ多く自然の残っている日野では、様々な場所で見ることが出来ます。

緑と清流課では毎月1回程度のペースで、市民団体「みずとくらす・ひの」との共催で水辺のある風景日野50選を巡るガイドツアーを行っています。その時々しか見られない自然の姿を見られるかもしれない。ぜひ興味のある方はご参加お待ちしております。（森田）